

11/9(土) イオンモールナゴヤドーム前

ステージ・ワークショップ団体

大正琴

大正琴音楽の次世代への伝承と芸術文化の振興を
目的に様々な活動を展開。

琴伝流大正琴全国普及会

1974年発足。1980年代前半に琴伝流が低音域のアルト大正琴、テナー大正琴、ベース大正琴を開発し、従来のソプラノ大正琴と合わせて大正琴アンサンブルを実現。これにより、平成半ばにかけて愛好者100万人ともいわれる大正琴の大ブームが訪れた。

1993年に琴伝流が中心となり文部科学省許可の大正琴協会を設立。2013年には内閣府認定により公益社団法人に移行し、その後も最大流派としての役割を果たしている。

琴伝流が2006年に始めた「全国子供大正琴コンクール」は、現在の大正琴協会の中心事業となり、次世代を担う若手演奏家の育成に寄与している。

2008年には2,864名の大正琴一斉演奏と、全長2.1mの世界一大きな大正琴の2つのギネス世界記録を樹立したほか、大正琴音楽大賞の創設など、常に大正琴音楽文化の先頭を走り続けている。



講師

やまざき てると
山崎照登

1979年琴伝流入社。琴伝流本部師範として全国各地を回り、これまでに千名以上の指導者を養成。現在は琴伝流上席本部師範として名古屋市中区金山にある琴伝流大正琴東海本部を中心に指導ならびに模範演奏を行っている。公益社団法人大正琴協会理事。



万歳

イベントでの披露だけでなく地元の学校での出前
授業など、幅広い活動を行う。

尾張万歳保存会

尾張万歳は、現在の名古屋市中区矢田町にある長母寺を開いた無住国師が、鎌倉時代の正応年間に作られ、正月の祝福芸として庶民に親しまれてきた尾張万歳を継承する団体。万歳の芸は、扇子を持って祝詞を唱える太夫と、鼓をたたいて合いの手を入れる才蔵とで演じるもので、基本は2人1組となっている。

知多翔洋高等学校等での出前授業等を行い、伝統ある尾張万歳の保存・伝承を行っている。



11/9(土) イオンモールナゴヤドーム前

ステージ・ワークショップ団体

落語

落語歴30年以上の噺家。各種イベントや落語会にて出前落語から出張講座までを行う。

社会人落語「楽語の会」

社会人落語家 やしょうてんなるみ家 笑天

社会人落語「楽語の会」代表。

落語歴38年・年間150ヶ所ほどの高座数をこなす。

地元春日井市を中心に、各地から依頼を受けて幅広く活動中。・第9回千葉国際落語大会入賞（TOP10）／第8回社会人落語日本一決定戦にてファイナリスト（TOP10）に選ばれる。



落語

社会人落語家として様々な活動を行う

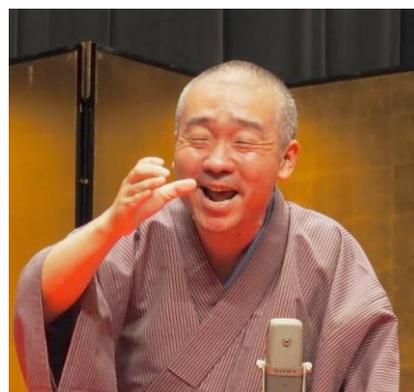
社会人落語「楽語の会」

社会人落語家 かんだいてい まめぞう関大亭 豆蔵

大阪出身→東京に長期単身赴任→現在は北名古屋市在住。

大学時代、関西大学落研に在籍し、その後社会人落語家として活動。明るい上方落語が評判。

第12回社会人落語日本一決定戦優勝／第5回千葉国際落語大会準優勝



11/10(日) イオンモール豊川

ステージ・ワークショップ団体

箏

各地で演奏活動と教授活動を精力的に行う
箏のスペシャリスト。

たけもと さとこ

箏演奏家 竹本知子

愛知県名古屋市出身。3歳より母に手ほどきを受け、沢井一恵に師事。これまで数々の全国コンクールにて最高賞受賞、NHK邦楽オーディション合格。

名古屋市民芸術祭賞受賞。愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。洋楽器や伝統楽器との共演も多く、古典から現代まで幅広いジャンルに取り組む。箏曲の普及・発展・伝承を使命とし、地元名古屋を中心に全国各地にて活躍中。

生田流沢井箏曲院師範。箏曲「樹の会」主宰。星ヶ丘お箏教室講師。



祭礼能

地元を中心に長い歴史を受け継ぐ能楽団体。

新城能楽社

新城（本町）能楽社が古来からシテ・ワキ方と囃子方・狂言方を擁し、祭礼能を奉納していたが、狂言の演者が絶えそうになり、上演不能の危機にさらされた際、狂言方が新たに新城狂言同好会として1952年に再編成。

新城能楽社とともに新城能楽社中として（能、狂言、囃子方のすべてが揃った）能楽の完全な形を保ち、祭礼能奉納などの伝統保持と文化活動に努め、今日に至っている。



津軽

三味線

イベントでの披露だけでなく地元の学校での出前
授業など、幅広い活動を行う。

津軽三味線奏者

ばば あつふみ

馬場淳史

1988年生まれ愛知県春日井市出身・在住。17歳の時に津軽三味線のコンサートへ行き、その音色と迫力に魅了されその後すぐに津軽三味線を習い始める。2005年より石田音人氏に師事。2006年より神谷茂良氏に師事。2006年津軽三味線全国大会(大阪)では、津軽三味線を始めて2年目にして一般男性の部にて5位入賞を果たし、翌年(2007年)の同大会では一般男性の部にて優勝を果たす。

青森県主催の青森県フェアにて、津軽民謡の伴奏者として随行するなど、本場からも高い評価を得ており、津軽三味線界で群を抜く音色の美しさと天性の表現力で聴衆を魅了している。

2014年には春日井市より春日井広報大使に任命され、市内外に春日井市の魅力をPRしており、「津軽三味線☆三絃士」「東海民謡カルテット」のメンバーとしても活躍している

